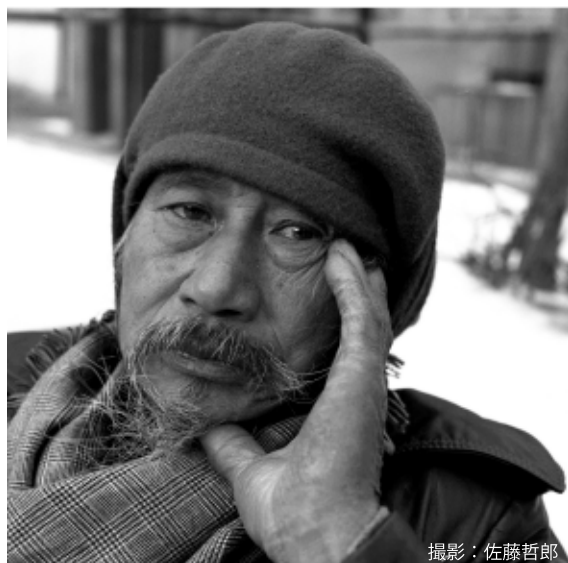




MIRIKITANI

ジミー・ツトム・ミリキタ二展



撮影：佐藤哲郎

路上の画家が見た世界

—9.11、日系人強制収容所、原爆—

2017年

7月22日(土)～9月2日(土)

 原爆回丸木美術館

埼玉県東松山市下唐子 1401 電話 0493-22-3266
月曜休館 (8月1日～15日は無休)

チラシ持参の方は、美術館入館料が100円割引になります

ジミー・ツトム・ミリキタニ展

路上の画家が見た世界 —9.11、日系人強制収容所、原爆—

2017年

7月22日(土)~9月2日(土)

1920年にアメリカで生まれたジミー・ツトム・ミリキタニは、母の故郷・広島で育ち、日米開戦前の1938年にアメリカへ戻りました。その後、1942年から約4年間「敵性外国人」としてカリフォルニア州ツルレイクなどの日系人強制収容所に拘留。戦後、料理人などの職を経て、晩年はニューヨークの路上で暮らしながら、猫や花の絵を描きました。しかし、2001年9月11日に「同時多発テロ」が起き、アメリカ国内でアラブ系の人たちへの風当たりが強くなると、70年近く前の記憶がよみがえり、強制収容所の絵を描きます。また、広島産業奨励館(原爆ドーム)が炎に包まれる絵を描き、道行く人が目を止めると、待ち構えたように原爆の話をしたそうです。

2006年には彼の記録映画『ミリキタニの猫』(リンダ・ハッテンドーフ監督)が公開されて話題となり、2012年に92歳で逝去した後も、短編映画『ミリキタニの記憶』が公開されました。

「グローバリズム」のもとに弱者を切り捨て、「ナショナリズム」のもとに他者を排斥する荒んだ現代社会の中で、異国の路上に生きた彼の身体的思考が、私たちに何を伝えるのか。ぜひこの夏、多くの方に体感して頂きたいと思います。



1万8千人加州同胞 60年前 鶴嶺湖 ツルレイキ (2003年)



1945年8月6日広島市アトムバンプを米兵ドラッグ
キル26万人ベビー子供女老人の死者を出す
ネバホゲット広島人(制作年不詳)

●「ミリキタニ展」オープニングトーク

7月22日(土)午後2時 参加無料(入館料別途)
マサ・ヨシカワ(映画『ミリキタニの記憶』監督)

●丸木美術館ひろしま忌

8月6日(日)午後1時 イベント参加500円(入館料別途)
講演・堀場清子、白崎映美&東北6県ろ〜るショーなど多数出演

公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

5月5日は開館記念日・8月6日はひろしま忌

[常設展] 「原爆の図」連作

「水俣の図」

「南京大虐殺の図」

「アウシュビッツの図」

「水俣・原発・三里塚」

絵本原画、丸木スマ水彩画等

[開館時間] 午前9時~午後5時

[休館日] 月曜日(8月1日~15日は無休)

[入館料] 大人900円 中高生または18歳未満600円
小学生400円 団体(20人以上)、60歳以上、
チラシ持参者、比企地区在住者100円割引
障碍(しょうがい)のある方は半額

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401

TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

[URL] <http://www.aya.or.jp/~marukimsn/>

[Eメール] marukimsn@aya.or.jp

[交通] ●東武東上線森林公園駅

南口よりタクシー10分、徒歩50分

●東武東上線東松山駅・高坂駅より

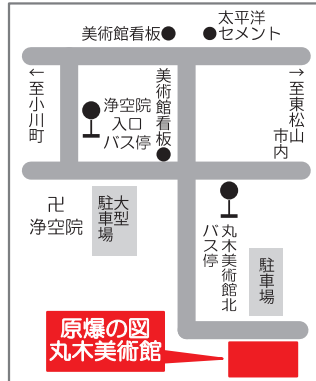
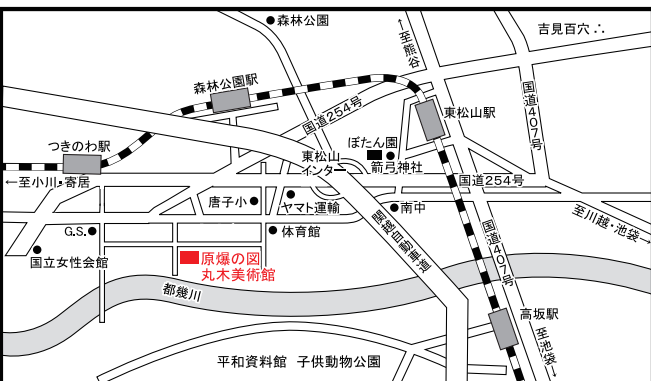
市内循環バス唐子コース(日祝運休)

「浄空院入口」「丸木美術館北」下車

●関越自動車道

東松山インターより小川方面10分

●東武東上線つきのわ駅南口から徒歩27分、詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい



【市内循環バス唐子コース時刻表】

○丸木美術館行き(日祝運休)

08:05 東松山駅東口→08:22 浄空院入口

11:12 東松山駅東口→11:29 浄空院入口

12:07 高坂駅西口→12:25 丸木美術館北

13:12 東松山駅東口→13:29 浄空院入口

15:22 高坂駅西口→15:40 丸木美術館北

※帰りの時刻はお問い合わせ下さい。